

# 伊能忠敬記念館ワークシート もっと活用！もっと学べる！



## 常設展示ワークシート③「測量隊の人数」

「伊能測量隊の正式参加者」のパネルから、測量隊の人数のグラフを作成して、その変化を読み取る。

「全国測量へ」コーナー レベル ★★★★★ 伊能忠敬記念館・常設展示ワークシート③

下の絵がえがかれているところをさがして、忠敬の測量チーム（測量隊）に参加した仲間の数をしらべてみよう！

弟子

第1次	第2次	第3次	第4次		
5人	人	人	人	人	人
第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	
人	人	人	人	人	人

上の表をもとに、棒グラフを書いてみよう！

グラフからわかること

① 仲間の数は、[A.増えている・B.減っている]。  
② とくに第  次測量の時に、急に増えている。

- ワークシートを解いてみよう
  - わかったこと  
〈例〉忠敬一人で地図を作ったのではない
  - ぎもんに思ったこと  
〈例〉どんな人が地図作りに関わったのか？
- ぎもんに思ったことを調べよう  
〈例〉測量隊以外の協力者を調べる  
→ 高橋至時（忠敬の先生）  
→ 地元の人たち（測量を手伝った）
- 調べたことをもとに測量器具や伊能図をみて、感想や気づいたことを書こう  
〈例〉測量隊の人数が少ないときと増えたときでは、どんなちがいがあがあるかな？  
→ 人数が増えてからの地図はくわしく描かれている。

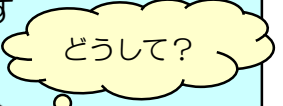
### ① ワークシートはあくまでツール

ワークシートは、学校で学んだことを用いながら展示資料の読み取る方法がわかります。全部で8種類用意しておりますが、1～2枚でも効果的な学びとなります。



### ② 課題に工夫を加えて

単に答えを埋めたり、写したりするだけでは受け身の学習ですが、資料をよく見ると、自分なりの疑問がわいてきます。その疑問を言葉として表現するために、課題には工夫を加えることをオススメします。



### ③ 先生のアドバイスと声かけを

児童・生徒の気づきを取り上げ、展示資料の見方や調べ方を的確に助言することが、とても大切です。疑問を持って調べたことを踏まえて測量器具や伊能図を鑑賞すると、理解した内容と関連付けることができ、自分なりの発見があるはずですよ。



### ④ それぞれの「わかった!」「みつけた!」

児童・生徒自身が主体的に考え、他の展示資料を調べたり、学芸員や展示解説員に質問したりすると、理解が深まります。グループ学習では、お互いの興味や発見の違いに気づき、刺激となり、広がりが生まれます。

### 〈ねらい〉

- ・ 測量人数を調べることで、忠敬が全国測量を行っていく様子を想像したり、考えたりできるようになる。
- ・ 測量に使われた器具や完成した伊能図を鑑賞するときの視点を持つことができる。